

## 168. JS版工事情報共有システムを開始します

技術戦略部 技術基準課長 長尾 英明

日本下水道事業団（以下JS）は、平成29年7月1日以降に公告する工事（設計金額5千万円以上）からJS版工事情報共有システムの運用を開始しました。このシステムは、工事中に受発注者間でやり取りする工事書類（工事打合せ簿など）を電子データ化しインターネット経由で情報共有サーバに蓄積し、情報の共有化を支援するシステムです。

JSのJS版工事情報共有システム（以下JS-INSPIRE）は、国土交通省の『土木工事の情報共有システム活用ガイドライン』を活用し、JSの提出書類・決裁体系、および下水道工事の土木、建築工事、機械、電気設備工事にも活用できるようにカスタマイズしたシステムです。

本システム運用開始にあたり、内部職員へ説明会を開催しましたが「電子決裁（電子押印）等に関する意見や慣れると便利なシステムだと思うが実際に使ってみないと・・・？」などの多くの意見がありました。また、土木業者への説明会では、既に国土交通省のシステムを使用している業者が多数あり、国土交通省のシステムとJS-INSPIREの違いについての質疑が主な内容でした。新しいシステムの導入では、まず、システム利用のイメージを把握してもらった上で、実際に使用する人がシステム操作に慣れてもらうことが重要だと思います。JSにおけるシステムの導入効果や評価は、今後、実際に使用した後になると思います。

少し古いデータですが工事情報共有システムの導入実績は、平成23年にJACIC（一般財団法人日本建設情報総合センター）が実施した調査結果によると土木工事を主として約5割の都道府県で導入（試行等を含む）されています。

下水道事業は土木の他、建築、建築機械、建築電気、機械、電気の複数の工事から構築されています。JS-INSPIREは、これらの工事にも対応できるようにシステム構築したところが他のシステムとの大きな違いだと考えています。システムの導入を考えている方や興味のある方は日本下水道事業団HP（<http://www.jswa.go.jp>）からJS-INSPIREのサイトメニューをクリックして該当ページから活用マニュアル等を参照してください。